



DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止

フラワーナイト

花騎士の使い方

ミズ回廊近隣の森林区奥地の洞窟にて"横穴"を発見。
痕跡からして、かの決戦より後にできたものと思われる。

横穴は長く地下深くへと続いており、最終的に少し開けた空間へ辿り着くと
そこで行き止まりになっていた。

花騎士の物と思われる遺留物あり。戦闘の痕跡なし。
鼻をつく異臭は壁や天井にこびり付いた粘液によるものと推定。

近頃頻発している花騎士の失踪事件との関連について、さらなる調査を要請する――

――ある騎士団の調査報告書より抜粋

TIPS

――ミズウォーム。不滅と黄昏の支配者。

リリィウッドの地下深く、ミズ回廊に封印されていた古の怪物です。
その正体は圧倒的な『数』を武器にするミミズ型の群体害虫であり
全ての個体が同一の意識を共有することが可能という、非常に厄介な能力を持ちます。

つまり数千、数万匹を超えるすべてのミズウォームを『1匹のミズウォーム』
と捉えるのが原理的には正しく、根絶は非常に困難。
一個体の戦闘力は低いため経験の浅い花騎士であっても討伐は容易ですが
圧倒的な物量を武器に消耗戦へと持ち込まれると
熟練の花騎士であっても対処は容易ではありません。
また体液が強い毒性を示すため、無暗に討伐を繰り返すと深刻な土壤汚染を引き起こします。

総じて、国家規模で対策が必要な害虫とされています。



スプリングガーデン全土を巻き込む
ミズウォールムとの一大決戦

しかし窮地へ駆け付けた
ブロッサムヒル騎士団長らを筆頭に
根源の世界への進撃作戦が決行されると

精霊たちの助力もあり
戦況は徐々に花騎士達へと傾いて行く

やがて――

騎士団長の振るう太陽の剣の輝きによって
根源の世界を埋め尽くしていたミズウォールム達を浄化し

膨大な数のミズウォールムに対し
各国騎士団は苦戦を強いられていた

事態は一旦の終息を迎えた――



かのように思えた――



太陽の剣による浄化を逃れ
生き残った僅かなミズウォールム
が地下で暗躍を開始



地下洞窟を占拠し
花騎士との戦いで大幅に削られた
戦力を補充するため

日夜繁殖活動に勤しんでいた

そのために彼らが目を付けたのは
憎き敵である花騎士の肉体であった

偶然生け捕りに成功した
花騎士を苗床として使ってみたのは
ただの気まぐれに過ぎなかったが――

花騎士の肉体が想定以上に
苗床として機能し

数百を超えるミズウォルムの出産にも
耐えられることが判明すると――





花騎士の子宮を使った
繁殖では



驚異的な再生力に依存して
自身の複製を作るのと同じ



繁殖に適した道具として

捕らえた花騎士を飼い始める



新たな個体を産みだすスピード
こそ劣っていたが

産み落とされる新たな個体の
『質』という点において

従来と比べて
大幅な改善がみられていた

花騎士の子宮に産み付けられた卵達は

母体の魔力を少しずつ喰らいながら成長する

はぁ
またお腹……
大きく……

はぁ
中で動いて……

ムフッ……
いやっ……
もう嫌ですのっ……

上質な魔力に満ちた花騎士の胎内は
卵の成長にこの上ない環境であり――

まさに極上の揺り籠であった

卵は数日間
花騎士の子宮内で過ごし

孵化の日を迎えると――

ひぐっ……
出てっ……

花騎士という道具を用いることで
初めて成し遂げたのである

ミズウォルムという種の進化を

自らの複製を作り続けるだけでは
成しえなかった自身の成長――

苗床の膣口から
我先にと産まれてくる

母体の魔力を喰らって育った
次世代のミズウォルムとなって

ミズウオルムに革命をもたらした
この一連の行為だが――

苗床にされた花騎士は
子宮が使い物にならなくなるまで
何度も繰り返し使用されるケースが多く

凄惨な状態となつてなお
苗床として酷使され続ける者が後を絶たないという

拷問にも等しいおぞましい
行為でもあった



苗床にされた花騎士の身体は一方的に蹂躪され

卵に良質な餌を与えるための
道具として扱われる

魔力

ゴッ
ゴッ

ゴッ
ゴッ

ゴッ

まるでかつての恨みでも晴らすかのように
道具を酷使用するミズウォルム達によって

繁殖場は苗床達の泣き叫ぶ声で満たされていた

ゴッ

ゴッ

ゴッ

やた

あ

あ



苗床から産まれた次世代のミズウオルム達は
次々に地上へと侵攻し

私がドクの分も
がんばるからっ...

お願いっ...!!
ドクは帰して
あげてっ...

新たな苗床を生け捕りにして
巣へと帰還する

苗床達はひとつの
例外なく皆孕まされ

強力なミズウオルムを産むための
道具にされていくという

負の連鎖



この頃になつてようやく

事態の深刻さを理解した騎士団は
囚われた花騎士達の救出
及びミズウォルムの
殲滅を掲げ、国境を超えた
連合部隊を結成――

根絶のためにミズウォルムを
狩る花騎士と

苗床に適した花騎士を狩るミズウォルムの
戦いは激化の二途を辿るのだが……

互いの存在を狩り合う
日々の中にあつても

苗床達の子宮に産み付けられた
卵は着実に成長を重ね

より強力な力を持った
次世代のミズウォルムとなつて――

苗床の子宮から
際限なく産まれてきた



初めは拮抗していたかもしれない――

或いは、花騎士側に傾いていた
可能性すらある天秤の針は

ゆっくりと、しかし確実に
ミズウォールム側へと傾いていった

その間も苗床達は休むことなく
道具として酷使され

花騎士に浄化される個体数を
苗床が産み落とす個体数が上回ったその瞬間――



フラワーナイト

花騎士は狩られる側へと堕ちていった

この頃になるとミズウオルムが
花騎士を狩る手段は複数あったが――

目が覚めたら……
こんなところに……

あ、

ボク……
何をされ……

中でも特に卑劣で
狡猾とされたのが

生け捕りにした花騎士を
囿に使った罠であった

地表近くの敢えて発見しやすい
洞窟へ花騎士を運び

じつくりと罠のように
穴という穴を犯していく

それは卵を産み付け
孕ませるための行為ではなく

痛いっ……
そんな激しくっ……

力任せに膣と尻穴へ
触手をねじ込み
挿入を繰り返すという

ただ苦痛を与える
ためだけの行為

やあ

ズボッ

やだ！

ぬちゅっ

ぬちゅっ

ハッハッ

ドチュッ♡

ドチュッ

あ、

ひぐっ……
んあっ……

ビクッ

あが、

ズリッ

苦痛に泣き叫ぶ生きた
花騎士を餌にして

なんっ…
でっ…

こんな
ことっ…

あぐっ…
んうっ…

新たな花騎士を
おびき寄せるとい
う
悪辣極まりない行為である

人間が生餌を使つて
様々な獲物を狩るよう

ミズウォルムもまた
花騎士という生餌を使つて
花騎士を狩っていく

生餌に選ばれた花騎士は
薄暗い洞窟の中で
『仲間の悲鳴』という

『餌』を吐き出すための
生きた道具にされていた

この罠の恐ろしい点は
狩の成功確率であり――

『餌』に釣られて洞窟へ
足を踏み入れた『獲物』が
生還することは極めて稀だった

誰かっ…
誰か助けてえっ…!!

ひぎっ…
痛っ…

団長さん…!!

それゆえ各国騎士団も
事態を把握することができず

貴重な花騎士を次々と狩られ
甚大な被害を被ってしまう

生餌にされた花騎士に対して行われる拷問のような触手の責め苦は――

やだっ
そんな太いの……

ボクの中に
入るわけ……

いずれ苗床へ転用する
ための準備も兼ねており

産卵管をスムーズに
子宮へと挿入できるよう

膣をほぐすための
措置でもあった

クチュル

クチュル

くぱあ
トロオ……♡

まるでついでのように
膣を責められながら

獲物を狩るための
『道具』として使われる日々は――

ひぎっ……
ぐっ……あがつ……

ひぎっ……
ぐっ……あがつ……

抜いて……
もう抜いてえ……

尻に獲物が掛かる
まで終わることは無い

ズリュッ

ギンッ

ズボッ
ズボッ

ズリュッ

—その洞窟に足を踏み入れた
『獲物』が目にするのは

膣や尻穴を極太の触手で貫かれた
無残な同胞の姿である

ぐっ…
ひぎゃっ…

おっ…
はぁ…ひぐっ…

誰か…
おっ…ぐっ…

助け…っ

経過時間にもよるが、『餌』とは
まだ意思疎通が可能な場合も多く

泣き叫びながら助けを求める
同胞の姿を前に
冷静さを保てる者は少ない

んぐっ
あっ…

なんなのじゃ…
これは…

こんな場所で…
花騎士が犯され…

んんっ…
いやあっ…!!

ひぐっ
んあああっ

やだっ…
ボクの身体っ

もう無理だからっ

ステラ殿…!!

こんな…
あまりにも惨い…



花騎士の
失踪事件…

噂に聞いては
おったが…

一体何が
目的じゃ…

……いや
今はそんなこと



それこそが罠であり

ステラ殿…!!
今助ける!!

助けてから
考えればよい…!!

ミズウォルムの目論み通り
であることにも気づかず



哀れな獲物として――

ダメです
シロタエギク
さんっ!!

罠です
逃げてっ…!!



ギシッ

……っ!!

ギシッ



これはっ…!!

死角から…っ!!



狩られてゆく――

ゴッ

狩られた花騎士
の末路は苗床か
生餌か――



いずれにせよ
ミズウォルムに
道具のように
使われる未来が
待っている



もしや
イソギク殿か…!?

それに
この声…

手も足も…
動かせぬ…



んっ…
ここは…

後頭部に…
強烈なのを貰った…

ようじゃな…



そんな…

くっ――

なんと酷いことを…
イソギク殿…!!

んあっ…
んああああっ…

いや…
いやああああっ…

ダメ…ッ
ダメですっ…

ジュポジュポっ…
深すぎてっ…!!

『餌』に釣られて
捕獲され

繁殖場へ送られた
シロタエギクが見たのは

変わり果てた
仲間の姿であり

あんっ…
ひぐっ…

またっ…
いっぱい入って…



ほんの僅か先の未来の
自分自身の姿—

ダメっ…
もう無理ですっ…!!

ふぐっ…
いきりっ…

お腹っ
破れちゃうっ!!

いやあっ…



こんな…
ことが…

あつていいわけが
ないのじゃ…

こんな…こんな
おぞましい事が

どうして…
今まで

生け捕りにされ、繁殖場へ
送られた花騎士に人権など当然なく

は、離せつ…

やめるのじゃ…

いかなる行為への拒否権もない

サシッ

クチュル

そんなもの…
入るわけが…

ギョッ

苗床として、ミズウォルムを
産むための道具として
生かされ続けることとなる

グチュッ
グチュッ

繁殖場に国境はなく

ぐっ…
あぁっ…

入って…

人種による差別も偏見も
存在しない

ズブッ

誰もが平等に

お、
ビクッ

うあ…
あがっ…

深…いっ…
奥までっ…

ひぐうっ…

ただの苗床として扱われた

ズチュッ

皆が等しく
使い捨ての道具であり

はぁ

んっ…
ぐうぐうぐう…

はぁ

ぬすっ

繁殖場へ送られた
ばかりの花騎士はまず

よすのじゃ...
もう...

出たり...ぐっ...
入ったり...

産卵管を模した触手によって
膣をほぐされることとなるが

ぬすっ

ひぐっ...

また勢いよく...
出たり入ったり...

苗床の大切な膣が
裂けたりなどしないよう

ずりっ

ゆっくりと丁寧に

時間をかけて行われるこの行為は

ぬすっ

どろろ

これから末永く
使っていくであろう道具に対する

ミズウォルムによる
最初で最後の配慮である

ズル



ひぐっ…
わっちの…

ドクッ

わっちの
身体はもう…



膣が十分に
ほぐれたなら

ゴッ

ゆっくり見せつけるように
挿入されていく

この産卵管の挿入をもって

これまで苗床が歩んできた
花騎士としての人生は終わりを迎え

嫌じゃっ…
嫌なのじゃ…

ミズウォルムの苗床として
道具として生かされ続けるという

第二の人生は幕を開ける

すぐさま産卵管が
用意され

ゲキッ



触手から…何かが
送られて…くるのじゃ…

ズルン

このまま…
子宮に…

あぐっ…
こんなことなら…

はぁ

団長様…
そなた様に…
わっちの…

はぁ

苗床としての第二の人生は――

数か月から、長い者では
数年以上続くこともあるという

苗床にされた花騎士が生きたまま
救出された例が少なく
憶測を多分に含んだ報告しかないが

苗床を生かし、長期間使い続けるための
手段をミズウォールム達は有していると考えられた

苗床達に許されたのは――

何度も何度も繰り返される出産に
心と身体が摩耗していくのを必死に耐え

いつか助けが来ることに
淡い希望を抱きながら
生き続けることのみであった



な
何? なんなの?

何?
こいつどいつ?

ウソ? なんで?
ヤダヤダヤダヤダ!

今日は、確か…
地底洞窟の探索に来て…
ああ、ダメだ…全然思い出せない

くっ…ダメだあ…
身体に力…があ…入らないい…
…こ、こいつら…服を…溶かして…
やめろお、ばか! 広げるなああ!

くはあ♡

ハハ

くっそー
この触手、ボク様の弱いところ
ばっかり責めてくるよお
そこは団長さんだけにしか
許してないんだぞ！

今日団長さんに出してもらった
精液が出てきちゃうー

んにゃあー！

ハルチン♡

あーあー

びい









あとがき

はじめまして。お久しぶりです。
のらねこです。

うーーーーん……ハードすぎやしないかね…これ……
お話としては前回Binoring先生と合同で出した「触手墮ちEX」
のハナモモちゃん世界線の続きで、これまでの「ミズくん」シリーズ
の延長線上にある世界だそうです。冒頭数ページ前回の流用しちゃった☆☆

たぶんシロちゃんの世界線にはたどり着けなかったんだね……。

いちおう一部の方々(?)からご好評いただいてるっぽいこのシリーズなのですが
回を追うごとにどんどんハードになってる…よね……
だんだんぶっ壊れてきたのらねこの性癖も心配ですよ。ほんと。

今回はセット用の限定本(こっちはもっとハード汗)の作業もあって
ちょっとオーバーワーク気味でした。

次はもう少し休ませて……というか、Xに投稿するお花の子もっと描きたい……

それではまた機会がありましたら!!



花騎士の使い方

発行日： 2025年10月4日
発行者： のらねこかいぎ(@noranukokaigi)
dennn(団長騎士サマの集い)
mail: nukoconference@gmail.com
印刷所： 株式会社グラフィック
※本作品の無断複製、複写、生成AIへの利用
web上へのアップロードを禁じます。



団長騎士サマの集い